

剣道を始めた動機について

83歳で初段合格 宮前武彦さん（京セラ剣道部）

皆様には、益々ご健勝の事と存じます。

先般（11月26日）の剣道定例段位審査会において、83歳で初段に合格させて頂きました。大変に嬉しく有り難く誇りであり、光栄に存じます。初めての体験でしたが、偏に京セラ剣道部の諸先生による親切なご指導と、更に仲間達に恵まれ、多くのご声援を頂いたお陰であり、心より感謝しています。

子供の頃からスポーツ好きでしたが、私の高校時代の友人が剣道で活躍している事を知って、関心が高まり、魅了され、剣道は憧れのスポーツとなっていました。そして一度は体験することを夢みていましたが、その機会は無く、高齢化も進み、体力の衰えもあり、剣道の体験は諦めていました。

80歳を過ぎていましたが、ある日OB会の仲間達との昼食時に、剣道の話が話題になり、私は剣道の体験が長年の夢であることを話しました。そして、丸山師範（剣道家である事を知りませんでした）から、思いもかけず、OB会の中に、剣道部創設の話が持ち上がり、念願の剣道部が誕生しました。大変に嬉しく、直ちに入部し、竹刀を手にする事が出来、遂に長年の夢も実現しました。

今日、人生100年時代が到来との言葉を耳にしますが、高齢者には、何よりも心身の健康が一番と考えています。現在、剣道の練習を重ねる毎に、その適切な運動に加え、仲間達との交流、親睦も深まり、大切な心身の健康維持に大きく役立つ事を実感しています。

更に、初段を頂いた事で、多くの仲間達から、祝福と同時に、「勇気と元気をもらった」との言葉を頂き、私の喜びも倍増しています。

大切な考え方の一つに、向上心とチャレンジ精神の言葉を思い出しています。チャレンジしての失敗は失敗で無い。チャレンジしない事が失敗なのだ。今回は剣道にチャレンジした事で、多くの事を知り学び、大変有り難く、感謝しています。

一人でも多くの方に、剣道の楽しさ、良さを体験して頂きたいと願っています。今後も宜しくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



< 事務局からの質問に答えて >

- ① 座右の銘 利他の心（感謝、報恩、奉仕）
- ② 今後の抱負

少しでも、社会貢献が出来る事を願い地域のボランティア活動に努めます。
その為にも、心身の健康維持に努め、剣道を続けます。剣道は健康維持に最適なスポーツと、実感しています。更に心豊かに老後を楽しみ、悔いの無い人生を目標とし、日々の努力を続けます。